

心を癒やす土いじり お年寄りたちと交流

花の栽培や土いじりを通して心身をケアする県立淡路景観園芸学校・園芸療法課程の受講生十七人が八日、東浦町の福祉施設「カーネーションホーム」を訪ね、お年寄りと一緒に観賞用の「苔玉」づくりに取り組み、交流を楽しんだ。

同課程の実習の一環で、お年寄りとの接し方、作業の手伝いなどを学んでもらおうというもの。「苔玉」は植物の根を土で覆って球状にし、表面にコケを張りつけてつくるもので、インテリア用品として人気があるという。

この日は同ホームのデイ

施設を訪問 園芸生 観講の受 景の路 淡路学校

サービス利用者二十三人と共同作業。受講生は「土に水を足して丸めやすくしましょう」「おにぎりを作ってください」などと声をかけ、手をさしのべて土を丸めるなど、いねいに作り方を説明。お年寄りも声をかけ合いながら作業し、土いじりを満喫していた。

同町久留麻の山口美也子さん(八三)は「とても楽しかった。家に飾っておきま

お年寄りと一緒に「苔玉」づくりを楽しむ受講生ら「東浦町のカーネーションホーム



す」と満ちげ。受講生の中村臣一さん(三〇)は「どまつくる喜びを感じられた」で手伝ったらいいか、見極と話していた。

平成14年10月9日(水)
産経新聞(朝)・夕
26頁 淡路版